



400年の歴史を誇る伝統と現代を融合した「絞り」染め

有松鳴海絞りは、約400年前の江戸初期に愛知県の地で誕生した。

農業には適さないこの土地で、村おこしとしてはじまったこの産業は、竹田庄九郎以下先人たちのたゆまぬ努力の結果、有松鳴海絞りとして大いなる繁栄をもたらした。

絞りで栄えた有松鳴海の町は、広重の東海道五十三次をはじめ、多くの浮世絵に描かれている。

ものづくりへのこだわり

絞り染めは、模様を染め出すために人間がいちばん最初に始めた技法。生産工程のほとんどが手作業で行われている。絹平袖の白地を、針と糸で丹念に括り絞るのだが、終わるまでに5ヶ月余りもかかる作業である。これは、庶民から発祥した技術なので、華やかさと素朴さの融合がひとつの魅力である。



空気、水、空をイメージさせるクリーンな心地よさ。メタリックなカラーと絞りの融合により、独特のハイテクな風合いが生まれた。

ナチュラルなイメージが求められる今、人の心や体をホッとさせるのは、自然の色にマッチさせた絞りの美しさ。季節を、旬を、素敵に感じることができる喜び、絞りの魅力は尽きない。

産地ブランド“SOU・SOU × 有松鳴海絞 in AOYAMA”

2006年より世界でも注目されている京都の和装製造販売のデザインユニット“SOU・SOU”とコラボレートしたプロジェクト。

“産地の伝統工芸士たちが創る本物の有松鳴海絞りで、現代のライフスタイルに合う日常品を作り、より多くの人達に知ってもらおう”というコンセプトのもと、様々な展示会や催事を重ね、最近では、ケ・ブランリ美術館(パリ)で行われた世界24カ国参加の「国際絞り会議」にも参加し、積極的に世界でのブランドを確立しつつある。



連絡先

スズサン

〒458-0911 名古屋市緑区有松町大字桶狭間巻山1-19

TEL/FAX: 052-623-3412 (代表) E-mail: suzusan@japan-net.ne.jp URL: <http://www.suzusan-shibori.com>